

授業科目名	情報社会と情報倫理	科目コード	G4602L01
英文名	Information Society and Information Ethics		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス
------	---------------------

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>政府が2021年度から推進する「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、第5期基本計画で提起された「Society 5.0」の具体化が宣言されている。これは、「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されているものである。「サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した『超スマート社会』」の実現が目指されている。</p> <p>情報化やデジタル化は、業務の効率化や生産性の向上を実現し、産業振興・二酸化炭素排出量削減・高齢化対策などの社会的課題の解決にも資することが期待される。その一方で、秘密情報・個人情報の漏洩と拡散、情報の捏造と拡散（フェイクニュース等）、SNSを使った事件（いじめ、犯罪等）などの新たな問題や課題も生まれている。「Society 5.0」時代の社会人は、これらの知識に加えて、情報セキュリティや知的財産権についての基本知識を身に付けておくことも必要となる。</p> <p>この授業では、「Society 5.0」の内容と意義を理解するとともに、新たに生じている問題や課題とその対策について考察・議論する。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>
-------	--

キーワード	情報セキュリティ	個人情報保護	知的財産権	デジタルトランスフ	データ駆動社会
-------	----------	--------	-------	-----------	---------

到達目標	情報セキュリティ、秘密情報保護・個人情報保護、知的財産権の基本事項を説明できる。（40%）
	SNS、電子商取引、電子政府、電子決済、デジタルトランスフォーメーション(DX)、データ駆動社会の基本事項を説明できる。（30%）
	情報化やデジタル化の進展にもなっている問題や課題を理解し、その対策を考察・説明できる。（30%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス。「Society 5.0」について（歴史と背景、概要） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】シラバスを読むこと。「Society 5.0」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第2回	情報セキュリティ（概念、事例、法律） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】情報セキュリティについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第3回	情報セキュリティ（共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、スパム、DoS攻撃） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、DoS攻撃のうち1つを選んでインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第4回	知的財産権（特許権、意匠権、商標権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】特許庁のホームページの特許権、意匠権、商標権に関する説明を読んでおくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第5回	知的財産権（著作権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】文化庁のホームページの著作権に関する説明を読んでおくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第6回	視覚障害者と情報技術（外部講師による授業）	
	【予習】視覚障害者が社会参加するためにはどのようにすれば良いかについて調査し、考察しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第7回	秘密情報保護、個人情報保護 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】営業秘密、または個人情報のいずれかについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分

第8回	SNS (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 SNSについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第9回	電子商取引 (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子商取引についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第10回	クラウドサービス (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 クラウドサービスについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第11回	電子政府・電子自治体 (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子政府・電子自治体についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第12回	電子決済・電子マネー (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子決済・電子マネーについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第13回	デジタルトランスフォーメーション (DX) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 デジタルトランスフォーメーション (DX) についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第14回	データ駆動型社会、人工知能 (AI) の活用 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 人工知能に関する最近の話題についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分

第15回	データ・人工知能 (AI) 活用における留意事項 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】これまでの授業資料を確認しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。 なお、理解度を自己確認できるようにするため、これまで課したMicrosoft Formsを使った小テストを繰り返し実施できるようにする。	30分
第16回	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	<p>期末試験 (60%)、各回の課題レポート (40%) にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p> <p>人間性：10%      社会性：10%      専門性：80%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	都度、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・内閣府ホームページ ( <a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html">https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html</a> )
----------------	-------------	----------------	--

授業外学修等	<p>毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。 日頃から新聞記事、テレビ番組などで、情報セキュリティ、秘密情報・個人情報保護、知的財産権、電子政府、デジタルトランスフォーメーションなどの情報収集をすること。</p>
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。
オフィス・アワー	月曜日2限